

## 10月13日（木） 薬物乱用防止講演会

5・6時間目に全校生徒が体育館に集合し、薬物乱用防止講演会を行いました。当日は、飯塚少年サポートセンターから森 治美 様にお話に来ていただき、お仕事の中で経験された様々な事例をあげられながら、生徒たちと変わらない等身大の中学生が被害にあっていいることをわかりやすくお話してくれました。「心のお守り袋」の存在を意識しながら、トラブルに巻き込まれないよう過ごしてほしいと思います。

### 【講演の中で、大切だと思ったことを書きましょう。】

- ・相談できる相手をつくること。困っている子がいたら話をきいてあげること。（1年）
- ・心のおまもりに、相談できる人をいれておくこと。（2年）
- ・ネットを使うときには、個人情報を出さないようにすること。一人で悩みを抱えず周りの大人などに相談する。（3年）

### 【薬物について、どう思いましたか？】

- ・たった一つの薬物で、好きなことや就きたい職業につくことができなくなることは怖いことだと思った。（1年）
- ・薬物のことについて、僕は身近ではないと思っていたけど、福岡だけで65人ももっていると聞くと、意外に多くてとてもびっくりしました。（2年）
- ・改めて薬物のおそろしさを知ることができました。かわいい形やかわいいイラストが描かれている薬があると知って、だまされないようにしようと思いました。（3年）

### 【危険な薬物をすすめられたときは、どうしますか？】

- ・好きな人でも近い友人でもきっぱりと断って、少しでも話を聞いてあげ、相手も私も間違った方向に進んでいかないようにしたい。（1年）
- ・薬物をすすめられても使用せず、悩みなどがあたら信頼できる人に相談して、自分の人生に向き合うことを忘れないように過ごしたいと思います。（2年）
- ・断れる友達ならきっぱりと断り、友達を救えるように、すすめられたことを大人に報告する。知らない人の時は、断り、すぐさまその場を離れる。報連相を大事にする！（3年）

